

私たちの生き方の基本

私のシノダリティを創るとともに歩むこと

神と共に

地球に住む
人々と共に

友と共に

誰とでも、自分から人との触れ合いを求めて愛と慈しみの心で生きるとき、そこに新しい人間関係が生まれている。

私

交わる

共に歩む人

教会・家庭で

- ・困っている人
- ・悩んでいる人
- ・助けを必要とする人
- ・苦しんでいる人

職場・社会で

- ・義に飢え乾く人
- ・被災者
- ・難民・移住者
- ・差別を受けている人

教会共同体の交わり

NO1

私たち教会共同体は、キリストに結ばれて一つの体をか形づくっている

キリストを頭としとする体の部分である兄弟姉妹との交わりに生きる

教会共同体の分かち合い

互いの思いを交換して分かち合う

信徒が共同体のために各自の意見を述べることは権利であり大切な努め

他者の喜びと苦しみ自分のこととして実感し、共同体で共有する

互いに支え合う仲間

声なき人の声になる

- ・分かち合いが苦手な人
- ・生活に苦勞し、精神的余裕が持てず、周囲の人に積極的に関われない人
- ・疎外感を抱いている人
- ・教会から遠ざかっている人

交わりから参加・宣教へ

交わり

眼前で起こっている事柄に関心を持つ

介護の苦勞と家族のあり方に思いを馳せる

声掛けの励行 ～ 声を聴く

参加・宣教

一人暮らしの高齢者や病者を訪問

支援できる活動に関心を持つ

人々に向き合って思いやりを示し、小さいことから人の幸せのために働く

実り

人々をつなぎ、新たな橋を架けることができる

聴くことは聖霊のたまもの

聖霊の声に耳を傾ける

声なき人の声は聖霊の働き

聖霊は他者に心を開かせ、愛の交わりを生み出す

分かち合いは聖霊による一致のたまもの

聖霊は私たちがキリストの体の部分としての交わりを生み出す

霊的なたまものが皆のために与えられ、それを全体でどのように生かしていくべきかを教えてくれる

私たちが神からの呼びかけに応えようと祈り、みことばに触れるとき、聖霊は人間の努力を導くために働く

私たちの生き方の基本

私のシノダリティを創るとともに歩むこと

神と共に

地球に住む

友と共に

人々と共に

誰とでも、自分から人との触れ合いを求めて愛と慈しみの心で生きるとき、そこに新しい人間関係が生まれている。

教会

教会は、信徒の誰もが「自分達の家」のように感じ、誰もが参加できる場所となり、兄弟姉妹たちの希望や困難に耳を傾け、寄り添う場所

典礼

典礼では、参加者全員が心をつなげて、神との交わりと一致を感謝し、いのちを祝う喜びを実感し、分かち合う

対話

諸宗教との対話

対話とは相手の考えや意見を変えることではない

相手の良心を認め、自由を尊重し、生き方に寄り添う

宣教

信徒は日々の生活の中で、みことばのあかしと愛の奉仕を通して宣教に参加

宣教は聖職者だけの務めではない

司祭、修道者、信徒が協力 共同責任を担う

教会の組織が誘導するのではなく、私たち一人ひとりが主体的に進んで行く

家庭が第一の宣教の場

神から愛される喜びと癒やしを惜しみなく家族と分かち合う

聖霊の識別

神は世の中の出来事や現象の中に「時のしるし」というサインを送っておられる。教会はこれを聖霊の識別によって読み解く

意見や感覚の相違があっても、聖霊は「時のしるし」を通して頭であるキリストに聴き従う決断へと導いてくれる

奉仕

NO
2

奉仕とは自分自身と自分の時間と労力、物質的手段を喜んで与える愛の表現

貧しい人に奉仕する教会は一つのキリストの体に成長

教会に夢を抱き、これを共同体で共有し、すべてのメンバーが奉仕者として宣教に参加

教会が、小さい人、貧しい人、社会の周縁にいる人に耳を傾ける奉仕する教会になる

教会が社会にでかけて行く

交わりと分かち合い

共同体での分かち合いを通じて、現実を分析し、評価し、判断し、共同体の合意によって次の行動を決定する

私たちの交わりを深めるために、共同体づくりの組織や計画だけに任せず、人と人との触れ合いを大切にし、福音の豊かさを積極的に分かち合う